

巻頭言

XR およびメタバース経済圏に求められる人に優しい

HMD大内 敏

総合報告

人工現実感を創り出す技術.....高田英明

解説

電子ホログラフィーを用いたヘッドマウントディスプレイーホロ HMD からホロメトリックビデオストリーミングまで.....坂本雄児

ライトフィールド技術を用いたヘッドマウントディスプレイ.....前田恭孝

超音波を用いた 3D 触覚ホログラム松林 篤ほか

フォーカス

HMD 用光学系と高効率パンケーキレンズ技術「ダブルパス方式」.....白倉奈留ほか

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

53 巻 11 号「バーチャルリアリティーが切り開く視覚科学」

53 巻 12 号「ハイパースペクトルイメージングの技術動向」

54 巻 1 号「中赤外フォトニクスデバイスと応用の広がり」

54 巻 2 号「健康長寿社会の実現へ向けた光医療」

54 巻 3 号「光散乱による微粒子計測の応用」

本号は「光学とバーチャルリアリティーのこれから」について特集したもので、発刊に向け「光学」としての新しい試みがちりばめられています。日本光学会では近年「異分野融合」をテーマとした企画が行われており、今回は日本光学会誌「光学」と「日本バーチャルリアリティー学会誌」の共同企画特集号となりました。

新しい試みの一つとして、日本光学会の研究者と日本バーチャルリアリティー学会の研究者による対談を行い、その様子を記事として掲載しました。本対談は、2024年3月に東京都市大学で開催された第71回応用物理学会春季学術講演会のシンポジウムの合間に行われました。本対談では、両学会の研究者が互いに異なる思考過程があることを発見しながら、将来的に両分野の発展を語り合う、素晴らしい内容でした。本記事は「光学」と「日本バーチャルリアリティー学会誌」両方に掲載されるため、今後さらに両分野の「異分野融合」が進むことが期待されます。

さらに、選りすぐりの解説記事も掲載した本特集号はフルオープンアクセスとなっています。このように、新しい試みがちりばめられた特集号を無事発刊することができたのは、「光学」前編集委員長の山本裕紹先生と、「日本バーチャルリアリティー学会誌」編集委員長の小泉直也先生のご尽力あつてのことです。普段「光学」を読まれない方にも是非おすすめしてご覧ください。また、次号の特集も光学と VR に関する特集号となりますので、ご期待ください。(酒井, 中村)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第 53 巻 第 9 号 <月刊>

2024 年 9 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒 112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
豎 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp